

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信 [特化型] (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2014年7月28日から2030年10月25日	
運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	東京海上 J-REIT投信 (通貨選択型) メキシコペソコース (毎月分配型)	わが国の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券(J-REIT)を投資対象とする外国投資信託「Tokio Marine J-REIT Fund-MXNクラス」と、主に円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどに投資する親投資信託「東京海上マネーブールマザーファンド」を主要投資対象とします。
	Tokio Marine J-REIT Fund -MXNクラス	わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されているJ-REITを主要投資対象とします。
	東京海上 マネーブール マザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上 J-REIT投信 (通貨選択型) メキシコペソコース (毎月分配型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
	Tokio Marine J-REIT Fund -MXNクラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空売りを行った有価証券の時価総額は純資産総額を超えないものとします。</li> <li>・原則として、純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。</li> <li>・同一発行体の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の35%を超えないものとします。</li> </ul>
	東京海上 マネーブール マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資は行いません。</li> <li>・外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。</li> </ul>
分配方針	第1期の決算時には分配を行いません。収益分配金額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。収益分配にあたっては、原則として毎決算時に分配を行うことを目指します。また、4月と10月の決算時に、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

# 東京海上J-REIT投信(通貨選択型) メキシコペソコース(毎月分配型)

## 運用報告書(全体版)

第130期	(決算日)	2025年5月26日
第131期	(決算日)	2025年6月25日
第132期	(決算日)	2025年7月25日
第133期	(決算日)	2025年8月25日
第134期	(決算日)	2025年9月25日
第135期	(決算日)	2025年10月27日

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあざかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上J-REIT投信(通貨選択型)メキシコペソコース(毎月分配型)」は、このたび、第135期の決算を行いましたので、第130期～第135期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	債券組入比率					投資信託券組入比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落率		
106期(2023年5月25日)	円 11,508	円 50		% 5.5		% 0.0	% 99.1	百万円 654
107期(2023年6月26日)	12,398	50		8.2		0.0	99.0	687
108期(2023年7月25日)	12,693	50		2.8		0.0	98.6	701
109期(2023年8月25日)	13,223	50		4.6		0.0	98.9	668
110期(2023年9月25日)	13,222	50		0.4		0.0	99.1	664
111期(2023年10月25日)	12,321	50		△ 6.4		0.0	98.5	595
112期(2023年11月27日)	13,382	50		9.0		0.0	98.9	635
113期(2023年12月25日)	12,531	50		△ 6.0		0.0	98.9	591
114期(2024年1月25日)	13,250	50		6.1		0.0	99.0	624
115期(2024年2月26日)	12,883	50		△ 2.4		0.0	99.2	606
116期(2024年3月25日)	14,121	50		10.0		0.0	99.3	653
117期(2024年4月25日)	14,305	50		1.7		0.0	99.0	699
118期(2024年5月27日)	14,504	50		1.7		0.0	99.2	738
119期(2024年6月25日)	13,562	50		△ 6.2		0.0	99.0	686
120期(2024年7月25日)	12,961	50		△ 4.1		0.0	98.9	746
121期(2024年8月26日)	11,701	50		△ 9.3		0.0	98.7	657
122期(2024年9月25日)	11,644	50		△ 0.1		0.0	98.5	655
123期(2024年10月25日)	11,637	50		0.4		0.0	99.0	655
124期(2024年11月25日)	11,553	50		△ 0.3		0.0	99.0	645
125期(2024年12月25日)	11,707	50		1.8		0.0	98.9	611
126期(2025年1月27日)	11,817	50		1.4		0.0	98.8	606
127期(2025年2月25日)	11,604	50		△ 1.4		0.0	98.8	564
128期(2025年3月25日)	11,833	50		2.4		0.0	99.0	573
129期(2025年4月25日)	11,643	50		△ 1.2		0.0	99.1	562
130期(2025年5月26日)	12,033	50		3.8		0.0	99.2	582
131期(2025年6月25日)	12,913	50		7.7		0.0	99.1	626
132期(2025年7月25日)	13,693	50		6.4		0.0	99.2	662
133期(2025年8月25日)	14,613	50		7.1		0.0	99.2	706
134期(2025年9月25日)	14,985	50		2.9		0.0	98.9	693
135期(2025年10月27日)	15,750	50		5.4		0.0	99.1	727

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	投信証組入比率	投資信託券率
		騰	落			
第130期	(期首) 2025年4月25日	円 11,643	% —	% 0.0	% 99.1	
	4月末	11,790	1.3	0.0	99.0	
	(期末) 2025年5月26日	12,083	3.8	0.0	99.2	
第131期	(期首) 2025年5月26日	12,033	—	0.0	99.2	
	5月末	12,319	2.4	0.0	99.1	
	(期末) 2025年6月25日	12,963	7.7	0.0	99.1	
第132期	(期首) 2025年6月25日	12,913	—	0.0	99.1	
	6月末	12,989	0.6	0.0	99.1	
	(期末) 2025年7月25日	13,743	6.4	0.0	99.2	
第133期	(期首) 2025年7月25日	13,693	—	0.0	99.2	
	7月末	14,084	2.9	0.0	99.2	
	(期末) 2025年8月25日	14,663	7.1	0.0	99.2	
第134期	(期首) 2025年8月25日	14,613	—	0.0	99.2	
	8月末	14,634	0.1	0.0	99.1	
	(期末) 2025年9月25日	15,035	2.9	0.0	98.9	
第135期	(期首) 2025年9月25日	14,985	—	0.0	98.9	
	9月末	14,878	△0.7	0.0	99.1	
	(期末) 2025年10月27日	15,800	5.4	0.0	99.1	

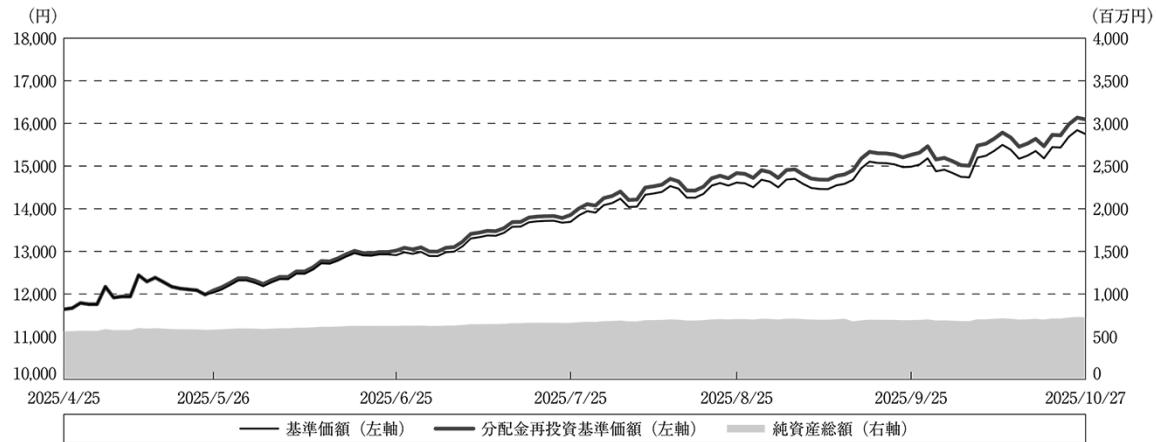
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

(2025年4月26日～2025年10月27日)

## ■作成期間中の基準価額等の推移



第130期首：11,643円

第135期末：15,750円（既払分配金（税込み）：300円）

騰落率：38.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年4月25日）の値が基準価額と同一となるように指標化しています。

## ◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・都心オフィスビル賃貸市況の改善やインバウンド増加に伴う宿泊施設への強い需要による事業環境の改善
- ・J-REIT各社による株主還元姿勢の強化や業績見通しの上方修正
- ・日銀による利上げ様子見姿勢が継続したこと
- ・円安メキシコペソ高による為替差益
- ・円売り／メキシコペソ買いの為替取引による金利差相当分の収益

マイナス要因

- ・国内政治情勢の先行き不透明感が高まったこと

## ■投資環境

### 【J-REIT市場】

作成期前半、米国の関税政策により世界経済の先行きに不確実性が高まるなか、国内では日銀による利上げ時期が後ずれするとの見通しが強まり、J-REIT市場は上昇しました。2025年8月には、米国雇用統計で過去分が大きく下方修正されたことから米国の利下げ期待が高まり、日米ともに長期金利が低下したことや、オフィスビル系J-REIT銘柄の決算で、好調な業績内容や強気な業績見通しが発表されたことを背景に、J-REIT市場は堅調な展開が続きました。9月に入り、年度初から続くJ-REIT市場の上昇を受けて利益確定の売りが入りやすい地合いとなったことや、国内政治情勢の先行き不透明感から上値の重い展開が続きましたが、その後、緩和的な財政、金融政策を掲げる高市氏が自民党総裁に就任すると、日銀の利上げが先送りされる期待感が高まったことから再び上昇し、前作成期末対比でも上昇しました。

### 【為替市場】

メキシコペソ円為替レートは、作成期前半、足元のメキシコの景気減速や米国の関税政策によりメキシコ経済が悪影響を受けるリスクの高まりを受け、メキシコ中央銀行は2025年5月、6月に政策金利をそれぞれ0.5%引き下げたものの、今後の利下げペースの鈍化が予想されたためメキシコペソに買い戻しが入り、円安メキシコペソ高の展開となりました。作成期後半は、メキシコ財務省が2026年の予算案で財政収支の改善見込みを示しメキシコペソ高の流れが続いたことや、日本では10月に高市氏が自民党総裁に選出され、財政拡張への警戒感から円安メキシコペソ高が一段と進み、前作成期末対比でも円安メキシコペソ高となりました。

## ■ポートフォリオについて

### ＜東京海上J-REIT投信（通貨選択型）メキシコペソコース（毎月分配型）＞

「Tokio Marine J-REIT Fund-MXNクラス」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーブールマザーファンド」（以下、親投資信託）を投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、外国投資信託証券の値動きを反映し、38.2%上昇しました。

### ＜外国投資信託証券＞

J-REITの組入比率は、当作成期を通じて高位を維持しました。

運用にあたっては、J-REITの市場流動性（流動性基準）とスポンサー企業の信用力や財務健全性（信用リスク基準）に基づいて絞り込んだ銘柄を対象として、時価加重比率と売買金額加重比率を合成した銘柄投資比率によるポートフォリオを構築し、運用を行いました。

また、円売り／メキシコペソ買いの為替取引を行い、実質的にメキシコペソの通貨比率を高位に保つ運用を行いました。以上のような運用の結果、基準価額（分配金再投資）は上昇しました。

### ＜親投資信託＞

元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債に投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

## ■分配金

分配金は、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかつた収益については信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2025年4月26日～ 2025年5月26日	2025年5月27日～ 2025年6月25日	2025年6月26日～ 2025年7月25日	2025年7月26日～ 2025年8月25日	2025年8月26日～ 2025年9月25日	2025年9月26日～ 2025年10月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.414%	50 0.386%	50 0.364%	50 0.341%	50 0.333%	50 0.316%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	8,708	8,715	8,722	8,914	9,287	10,051

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) メキシコペソコース(毎月分配型)>

外国投資信託証券および親投資信託を投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちます。

### <外国投資信託証券>

今後のJ-REIT市場は、日銀による利上げが進展した場合の金利コスト負担への懸念はあるものの、都心オフィス賃貸市況の改善やインバウンド増加に伴う宿泊施設への強い需要による事業環境の改善など、更なる業績成長が期待されます。また、当作成期のJ-REIT各銘柄の投資口価格は大きく回復したことから、自己投資口取得の規模は今後縮小することが想定されますが、投資口価格の回復が更に進めば、公募増資によって魅力的な物件を取得することによる業績成長が期待できます。

J-REITの需給環境については、足元では分配金利回りと国内長期金利との差が縮小していることから利回り面での魅力が低下しているものの、米国における利下げが進展すれば、海外投資家を中心に資金フローが改善すると想定します。

このような投資環境下、引き続きJ-REITの市場流動性とスポンサー企業の信用力や財務健全性に基づいて絞り込んだ銘柄を対象として、時価加重比率と売買金額加重比率を組み合わせた銘柄投資比率でポートフォリオを構築し、中長期的にJ-REIT 市場全体の動きをおおむね捉える運用を機動的に行う方針です。

また、円売り／メキシコペソ買いの為替取引を行い、実質的にメキシコペソの通貨比率を高位に保つ運用を行う方針です。

### <親投資信託>

今後も日銀による追加利上げが見込まれるもの、日銀は慎重にデータを精査していく姿勢を示していることから、国内短期金利の上昇は緩やかなものにとどまる予想しています。ただし、国内経済・物価の先行きに係る不確実性は高く、将来的な日銀の金融政策運営を巡る動向には留意が必要です。

このような環境下、国債や地方債などを中心とする円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するよう努める方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年4月26日～2025年10月27日)

項目	第130期～第135期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 47	% 0.348	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(11)	(0.084)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.251)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	1	0.006	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.006)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合計	48	0.354	
作成期間の平均基準価額は、13,449円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

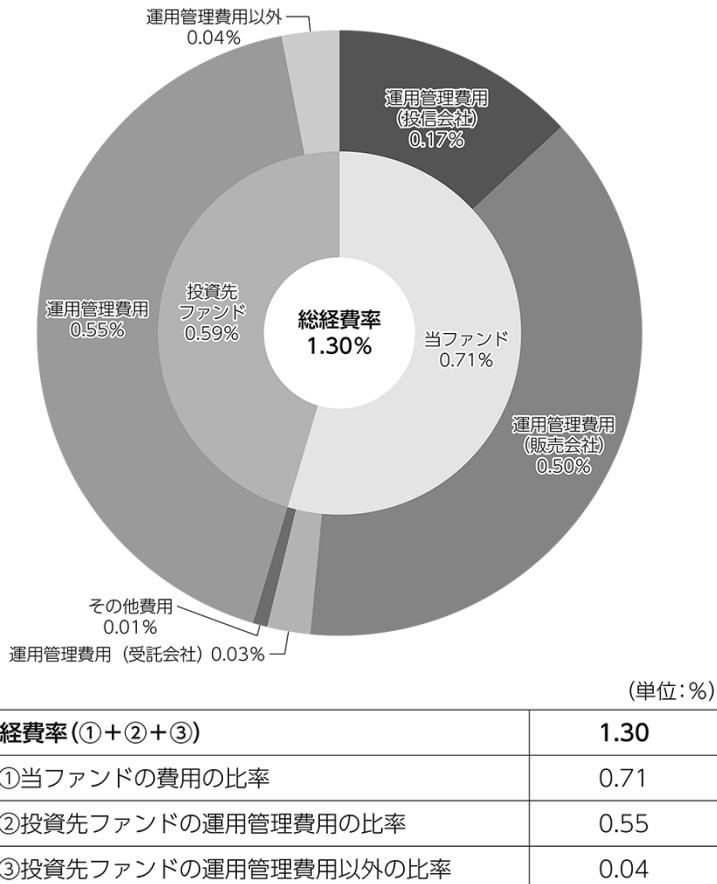
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドの費用は、「Tokio Marine J-REIT Fund」の費用を基に算出しています。

## ○売買及び取引の状況

(2025年4月26日～2025年10月27日)

## 投資信託証券

銘 柄			第130期～第135期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	ケイマン	Tokio Marine J-REIT Fund-MXNクラス	千口	千円	千口	千円
			0.6938	9,479	3	42,580

(注) 金額は受渡代金です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年4月26日～2025年10月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年10月27日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第129期末		第135期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率	
Tokio Marine J-REIT Fund-MXNクラス		千口	千口	千円	%	
合 計		49	47	721,227	99.1	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘 柄		第129期末		第135期末	
		口 数	口 数	評 価 額	
東京海上マネープールマザーファンド		千口	千口	千円	
		9	9	10	

## ○投資信託財産の構成

(2025年10月27日現在)

項目	第135期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 721,227	% 98.8
東京海上マネーブールマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	9,022	1.2
投資信託財産総額	730,259	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2025年5月26日現在	2025年6月25日現在	2025年7月25日現在	2025年8月25日現在	2025年9月25日現在	2025年10月27日現在
(A) 資産	円 585,156,280	円 629,008,466	円 664,916,396	円 709,241,525	円 696,427,230	円 730,259,041
コール・ローン等	7,416,201	8,150,380	7,959,688	8,739,552	10,195,607	9,021,384
投資信託受益証券(評価額)	577,729,965	620,847,958	656,946,580	700,491,832	686,221,460	721,227,504
東京海上マネーブールマザーファンド(評価額)	10,024	10,028	10,031	10,034	10,038	10,043
未収利息	90	100	97	107	125	110
(B) 負債	円 2,763,460	円 2,773,780	円 2,787,975	円 2,855,819	円 2,733,771	円 2,743,038
未払収益分配金	2,420,019	2,424,884	2,417,816	2,417,027	2,314,621	2,309,644
未払解約金	—	—	—	30,684	4,294	1,694
未払信託報酬	338,047	343,417	364,343	401,700	408,338	424,920
その他未払費用	5,394	5,479	5,816	6,408	6,518	6,780
(C) 純資産総額(A-B)	円 582,392,820	円 626,234,686	円 662,128,421	円 706,385,706	円 693,693,459	円 727,516,003
元本	484,003,868	484,976,802	483,563,305	483,405,487	462,924,271	461,928,854
次期繰越損益金	98,388,952	141,257,884	178,565,116	222,980,219	230,769,188	265,587,149
(D) 受益権総口数	484,003,868口	484,976,802口	483,563,305口	483,405,487口	462,924,271口	461,928,854口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,033円	12,913円	13,693円	14,613円	14,985円	15,750円

(注) 当ファンドの第130期首元本額は483,321,267円、第130～135期中追加設定元本額は7,513,270円、第130～135期中一部解約元本額は28,905,683円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2025年4月26日～ 2025年5月26日	2025年5月27日～ 2025年6月25日	2025年6月26日～ 2025年7月25日	2025年7月26日～ 2025年8月25日	2025年8月26日～ 2025年9月25日	2025年9月26日～ 2025年10月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,790,486	2,790,421	2,786,495	2,781,442	2,657,581	2,655,155
受取配当金	2,788,079	2,788,080	2,784,031	2,778,837	2,653,696	2,652,038
受取利息	2,407	2,341	2,464	2,605	3,885	3,117
(B) 有価証券売買損益	18,855,219	42,617,784	37,711,170	44,509,369	17,221,878	35,393,495
売買益	18,856,535	42,617,997	37,828,405	44,555,253	17,368,769	35,426,130
売買損	△ 1,316	△ 213	△ 117,235	△ 45,884	△ 146,891	△ 32,635
(C) 信託報酬等	△ 343,441	△ 348,896	△ 370,159	△ 408,108	△ 414,856	△ 431,700
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,302,264	45,059,309	40,127,506	46,882,703	19,464,603	37,616,950
(E) 前期繰越損益金	90,718,269	109,599,264	151,615,692	189,044,362	221,829,145	238,186,499
(F) 追加信託差損益金	△ 11,211,562	△ 10,975,805	△ 10,760,266	△ 10,529,819	△ 8,209,939	△ 7,906,656
(配当等相当額)	( 196,687,561)	( 197,539,438)	( 197,232,040)	( 197,431,121)	( 190,959,891)	( 190,834,944)
(売買損益相当額)	(△207,899,123)	(△208,515,243)	(△207,992,306)	(△207,960,940)	(△199,169,830)	(△198,741,600)
(G) 計(D+E+F)	100,808,971	143,682,768	180,982,932	225,397,246	233,083,809	267,896,793
(H) 収益分配金	△ 2,420,019	△ 2,424,884	△ 2,417,816	△ 2,417,027	△ 2,314,621	△ 2,309,644
次期繰越損益金(G+H)	98,388,952	141,257,884	178,565,116	222,980,219	230,769,188	265,587,149
追加信託差損益金	△ 11,211,562	△ 10,975,805	△ 10,760,266	△ 10,529,819	△ 8,209,939	△ 7,906,656
(配当等相当額)	( 196,687,561)	( 197,539,438)	( 197,232,040)	( 197,431,121)	( 190,959,891)	( 190,834,944)
(売買損益相当額)	(△207,899,123)	(△208,515,243)	(△207,992,306)	(△207,960,940)	(△199,169,830)	(△198,741,600)
分配準備積立金	224,784,602	225,126,100	224,552,032	233,510,038	238,979,127	273,493,805
繰越損益金	△115,184,088	△ 72,892,411	△ 35,226,650	—	—	—

(注) (B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2025年4月26日～ 2025年5月26日	2025年5月27日～ 2025年6月25日	2025年6月26日～ 2025年7月25日	2025年7月26日～ 2025年8月25日	2025年8月26日～ 2025年9月25日	2025年9月26日～ 2025年10月27日
	円	円	円	円	円	円
a. 配当等収益(費用控除後)	2,746,216円	2,768,964円	2,761,028円	2,757,445円	2,602,115円	2,625,022円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	8,951,403円	16,862,488円	34,991,928円
c. 信託約款に規定する収益調整金	196,687,561円	197,539,438円	197,232,040円	197,431,121円	190,959,891円	190,834,944円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	224,458,405円	224,782,020円	224,208,820円	224,218,217円	221,829,145円	238,186,499円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	423,892,182円	425,090,422円	424,201,888円	433,358,186円	432,253,639円	466,638,393円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,758円	8,765円	8,772円	8,964円	9,337円	10,101円
g. 分配金	2,420,019円	2,424,884円	2,417,816円	2,417,027円	2,314,621円	2,309,644円
h. 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

## ○分配金のお知らせ

	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

(注) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

●当ファンドは特化型運用を行います。特化型ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会の規則に定める支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。

●当ファンドの主要投資対象には寄与度（投資対象候補銘柄の時価総額に占める割合）が10%を超えるまたは超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## 〈参考情報〉

### Tokio Marine J-REIT Fund (JPYクラス／AUDクラス／BRLクラス／IDRクラス／USDクラス／MXNクラス) (外国投資信託 ケイマン諸島籍) の運用状況

Tokio Marine J-REIT Fundは、「東京海上 J－R E I T 投信（通貨選択型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／円建て
運 用 方 針	日本の取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているJ-REITを主要投資対象として、J-REIT市場全体の中長期的な動きを概ね捉えるとともに、各クラス（JPYクラスを除く）で定められた通貨（AUDクラス＝豪ドル、BRLクラス＝ブラジルレアル、IDRクラス＝インドネシアルピア、USDクラス＝米ドル、MXNクラス＝メキシコペソ）への投資効果を追求します。 J-REITへの投資にあたっては、J-REIT市場における時価総額構成比を基本としつつ、流動性・信用力等を勘案して各銘柄に対する投資比率を適宜調整します。なお、運用の効率性の観点から、指標先物取引等を用いる場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空売りを行った有価証券の時価総額は純資産総額を超えないものとします。</li> <li>・原則として、純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。</li> <li>・同一発行体の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の35%を超えないものとします。</li> </ul>
収 益 分 配	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により分配を行うことができます。
信 託 期 間	原則として2030年10月17日まで
決 算 日	原則として毎年3月25日
信 託 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対し年率0.56%を乗じて得た額が投資顧問会社、受託会社、保管銀行ならびに事務代行会社への報酬の合計額としてファンドから支払われます。この他、ファンドは、ファンドの設立に係る費用（3年を超えない期間にわたり償却）、組入有価証券の売買委託手数料等の取引に要する費用、組入有価証券の保管に要する費用、信託財産に関する租税、監査報酬、法的費用等を負担します。
関 係 法 人	受託会社：Global Funds Trust Company 保管銀行、事務代行会社：Nomura Bank (Luxembourg) S.A. 投資顧問会社：東京海上アセットマネジメント株式会社

※資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## (1) 損益計算書

2024年3月26日  
～2025年3月25日

(円)

**収益**

銀行口座に係る受取利息	247,135
受取配当金（税控除後）	2,029,434,909
<b>収益合計</b>	<b>2,029,682,044</b>

**費用**

投資顧問料	202,956,815
事務管理報酬	49,475,448
保管費用	14,892,179
銀行口座に係る支払利息	1,477,740
取引銀行報酬	5,832,153
銀行手数料	6,490,600
受託費用	9,900,593
法務報酬	740,543
立替費用	4,946,890
専門家報酬	2,265,233
印刷費用	205,883
その他費用	338,958
<b>費用合計</b>	<b>299,523,035</b>

**投資純収益**

投資に係る実現純損失	(2,093,042,400)
外国通貨、外国為替先渡契約に係る実現純利益	47,785,537
<b>当期実現純損失</b>	<b>(2,045,256,863)</b>

## 投資に係る未実現評価損益の変動額

外国為替先渡契約に係る未実現評価損益の変動額	(1,430,450,730)
<b>当期未実現損失</b>	<b>(1,720,965,581)</b>

**運用の結果による純資産の純減額**

1 口当たり純資産価格	発行済み受益証券数	(2025年3月25日現在)	
		純資産残高	
AUDクラス	16,917	645,670	10,922,821,451
JPYクラス	15,554	869,440	13,522,924,710
IDRクラス	12,442	194,626	2,421,528,507
BRLクラス	6,306	1,407,184	8,873,967,103
USDクラス	17,069	617,338	10,537,397,222
MXNクラス	11,579	81,040	938,380,336

(Nomura Bank (Luxembourg) S. A. 提供の監査財務諸表より作成)

## (2) 組入有価証券の明細

2025年3月25日現在

銘柄	名	比率(%)
ジャパンリアルエステイト投資法人		9.1
日本都市ファンド投資法人		7.6
野村不動産マスター・ファンド投資法人		7.6
積水ハウス・リート投資法人		5.9
KDX不動産投資法人		5.7
大和証券リビング投資法人		5.6
インヴィンシブル投資法人		5.1
ユナイテッド・アーバン投資法人		5.0
大和ハウスリート投資法人		4.9
日本プロロジスリート投資法人		4.3
ジャパン・ホテル・リート投資法人		4.2
アクティビア・プロパティーズ投資法人		3.4
日本プライムリアルティ投資法人		3.4
大和証券オフィス投資法人		3.3
G L P投資法人		3.3
ラサールロジポート投資法人		3.0
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人		2.6
アドバンス・レジデンス投資法人		1.9
日本アコモデーションファンド投資法人		1.9
平和不動産リート投資法人		1.8
コンフォリア・レジデンシャル投資法人		1.6
三菱地所物流リート投資法人		1.3
N T T都市開発リート投資法人		1.0
ヒューリックリート投資法人		0.9
星野リゾート・リート投資法人		0.4
日本ビルファンド投資法人		0.3
イオンリート投資法人		0.1
日本ロジスティクスファンド投資法人		0.1
グローバル・ワン不動産投資法人		0.0
産業ファンド投資法人		0.0
フロンティア不動産投資法人		0.0
サムティ・レジデンシャル投資法人		0.0
オリックス不動産投資法人		0.0
東急リアル・エステート投資法人		0.0
いちごオフィスリート投資法人		0.0
日本リート投資法人		0.0
阪急阪神リート投資法人		0.0
C R Eロジスティクスファンド投資法人		0.0
福岡リート投資法人		0.0
森ビルリート投資法人		0.0
トーセイ・リート投資法人		0.0
ジャパンエクセレント投資法人		0.0
森トラストリート投資法人		0.0
O n eリート投資法人		0.0
S O S i L A物流リート投資法人		0.0
スタート・プロシード投資法人		0.0
タカラレーベン不動産投資法人		0.0
投資法人みらい		0.0
合計（銘柄数・比率）		48 95.9

(注) 事務代行会社である「Nomura Bank (Luxembourg) S.A.」からの情報を受け、その内容を記載しています。

(注) 比率は純資産総額に占める割合です。

(注) 株式・新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

# 東京海上マネーポールマザーファンド

## 運用報告書 第15期（決算日 2025年10月27日）

（計算期間 2024年10月26日～2025年10月27日）

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### 東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考	指 数		債組入比率	純 資 産 額
	期	騰 落		期	騰 落		
11期(2021年10月25日)	円 10,035	% 0.0	100.14	% △0.0		% 68.6	百万円 36
12期(2022年10月25日)	10,036	0.0	100.12	△0.0		77.9	11
13期(2023年10月25日)	10,038	0.0	100.08	△0.0		69.9	11
14期(2024年10月25日)	10,042	0.0	100.15	0.1		69.7	11
15期(2025年10月27日)	10,074	0.3	100.57	0.4		78.2	11

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考	指 数		債組入比率	券 率
	騰	落		騰	落		
(期 首) 2024年10月25日	円 10,042	% —	100.15		% —	% 69.7	% 69.7
10月末	10,042	0.0	100.16		0.0		69.7
11月末	10,042	0.0	100.17		0.0		104.6
12月末	10,043	0.0	100.19		0.0		69.7
2025年1月末	10,044	0.0	100.22		0.1		69.7
2月末	10,047	0.0	100.25		0.1		69.7
3月末	10,049	0.1	100.29		0.1		69.7
4月末	10,053	0.1	100.33		0.2		69.6
5月末	10,056	0.1	100.37		0.2		69.6
6月末	10,059	0.2	100.41		0.3		69.6
7月末	10,062	0.2	100.45		0.3		69.6
8月末	10,066	0.2	100.49		0.3		69.5
9月末	10,070	0.3	100.53		0.4		69.5
(期 末) 2025年10月27日	10,074	0.3	100.57		0.4		78.2

(注) 謄落率は期首比です。

参考指数は、無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は、設定日を100として指数化したものです。

## ○運用経過

(2024年10月26日～2025年10月27日)

### ■期中の基準価額等の推移

期 首：10,042円  
期 末：10,074円  
騰落率： 0.3%

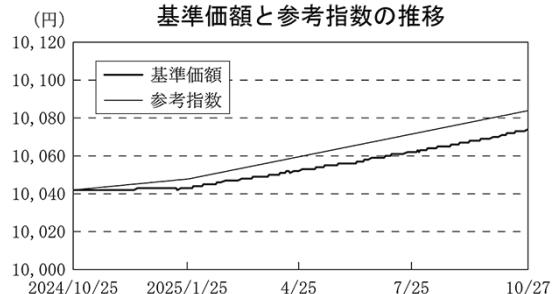
### ◇基準価額の主な変動要因

#### プラス要因

- ・安定した利息収入の獲得

#### マイナス要因

- ・保有する債券の評価損



(注) 参考指数は、期首(2024年10月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

### ■投資環境

当期の短期金融市場は、期初は日銀が政策金利を0.25%程度で維持したことにより、短期金利はおおむね横ばいで推移していましたが、2025年1月の日銀金融政策決定会合で政策金利が0.50%程度へ引き上げられると上昇しました。その後、政策金利が0.50%程度で維持されたことから、短期金利はおおむね横ばいで推移しました。金融緩和の度合いを知る上で着目する日銀の当座預金残高は、490兆円から549兆円程度で推移しており、短期金融市場の資金余剰感は非常に強い地合いが継続しました。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は0.23%程度から0.49%程度の間で推移しました。また、3ヶ月物の短期国債利回りは、0.01%程度から0.47%程度の間で推移しました。

### ■ポートフォリオについて

元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債などに投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

## ○今後の運用方針

今後も日銀による追加利上げが見込まれるもの、日銀は慎重にデータを精査していく姿勢を示していることから、国内短期金利の上昇は緩やかなものにとどまる予想しています。ただし、国内経済・物価の先行きに係る不確実性は高く、将来的な日銀の金融政策運営を巡る動向には留意が必要です。

このような環境下、国債や地方債などを中心とする円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するよう努める方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年10月26日～2025年10月27日)

該当事項はございません。

## ○ 売買及び取引の状況

(2024年10月26日～2025年10月27日)

## 公社債

	買付額	売付額
国内 国債証券	千円 32,972	千円 － (32,000)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ( )内は償還による減少分です。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2024年10月26日～2025年10月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年10月27日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	9,000	8,994	78.2	—	—	—	78.2
	(9,000)	(8,994)	(78.2)	(—)	(—)	(—)	(78.2)
合計	9,000	8,994	78.2	—	—	—	78.2
	(9,000)	(8,994)	(78.2)	(—)	(—)	(—)	(78.2)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利	率	額面金額	評価額
国債証券	%		千円	千円
第1325回国庫短期証券	—		4,000	3,999
第1334回国庫短期証券	—		5,000	4,995
合計			9,000	8,994

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

## ○投資信託財産の構成

(2025年10月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 8,994	% 78.2
コール・ローン等、その他	2,514	21.8
投資信託財産総額	11,508	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 11,508,035
コール・ローン等	2,513,304
公社債(評価額)	8,994,701
未収利息	30
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	11,508,035
元本	11,423,913
次期繰越損益金	84,122
(D) 受益権総口数	11,423,913口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,074円

(注) 当親ファンドの期首元本額は11,423,850円、期中追加設定元本額は539円、期中一部解約元本額は476円です。

<元本の内訳>

東京海上J-REIT投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(毎月分配型)  
2,999,301円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(毎月分配型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 円コース(年2回決算型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(年2回決算型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 豪ドルコース(年2回決算型)  
1,000,000円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(年2回決算型)  
1,000,000円  
東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)  
996,711円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) マネーピール・ファンド(年2回決算型)  
358,128円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 米ドルコース(年2回決算型)  
9,970円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) メキシコペソコース(毎月分配型)  
9,970円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) メキシコペソコース(年2回決算型)  
9,970円  
東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)  
9,970円  
東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(年1回決算型)  
9,965円  
東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(年6回決算型)  
9,964円  
東京海上・米国リカバリー・ポテンシャル戦略株式ファンド  
9,964円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

(2024年10月26日～2025年10月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 13,911
受取利息	13,911
(B) 有価証券売買損益	22,650
売買益	22,650
(C) 当期損益金(A+B)	36,561
(D) 前期繰越損益金	47,561
(E) 計(C+D)	84,122
次期繰越損益金(E)	84,122

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

## ○お知らせ

---

2023年11月に成立した「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正の施行により、従来運用報告書の書面交付義務としていた規定が、電磁的方法を含む情報提供義務と改められることに伴い、2025年4月1日付で所要の約款変更を行いました。